

<特集>

日本女子体育大学スポーツトレーニングセンターの変遷 (2014 ~ 2019年度)

笹倉 清則¹⁾

本学のトレーニングセンターは、体育大学としての施設充実の実現のために、1991年当時の前田充明知事長と元オリンピック体操日本代表選手であった小野喬常務理事が中心となり推進されてきた第4体育館の完成とともにスタートした。

私は、学園から提示された「二階堂学園トレーニングセンター使用規定」ほかについて、検討のメンバーとして参加していた。

初代センター長としては手嶋昇教授が就任し、次に加藤昭教授が3期6年、次に大門芳行教授5期10年、北川幸夫教授がセンター長の退官に伴い3年、そして私が2014年から2019年まで3期6年センター長を勤めさせていただいた。

在任中のセンター長としての業務としては、これまで前任のセンター長により継続されてきた業務の継続が主であり、すでに明確に以下の3つの業務内容に集約されていた。

その内容の一つ目は調査研究に関する業務であり、その中心はトレーニングセンター紀要作成に関する業務である。二つ目はトレーニング活動に関する業務である。これは一般学生の使用や教職員の利用に関する事、それに合わせた施設・機器の管理運営に関する業務である。三つ目はクラブ活動に関する業務であり、運動部強化の主力となるトレーニング場所としての活用に関連する業務である。

それぞれの業務に関して、在任中の検討並びに改善は以下の通りである。

I. 調査・研究に関する業務

2018 (平成28) 年 :

- 日本女子体育大学トレーニングセンター紀要投稿規定並びに投稿の手引きの一部改定トレーニングセンター紀要が平成29年度より機関リポジトリ掲載となるためにPDFファイルの提出が義務付けられた。

2019 (平成29) 年 :

- 日本女子体育大学トレーニングセンター紀要投稿規定並びに投稿の手引きの一部改定トレーニングセンター紀要投稿事前登録制度採用
- 紀要年度内発刊開始

2020 (平成30) 年 :

- 大学図書館機関リポジトリにトレーニングセンター紀要掲載にあたり、過去の投稿論文について見直し並びに整備

II. トレーニング活動に関する業務

2014 (平成26) 年 :

- トレーニングマシン入れ替え検討 (初動負荷, パワープレート, 有酸素マシン)

2015 (平成27) 年 :

- 前任の青山亜紀氏が退職後、空席であった運動指導員に4月より学生支援課所属でトレーニングセンター専門の職員として吉野 (旧姓: 横溝) 千明氏を配置
- トレーニングマシン入れ替え

2016 (平成28) 年 :

- 平成28年度より一般会員の新規受入をしないことと決定
- トレーニングセンター使用のための、事前の安全指導はこれまで前期2回、後期1回を開催していたが、後期実施しないこととした。

2017 (平成29) 年 :

- トレーニングセンターパンフレット作成・配布
- トレーニングセンター環境整備として大型加湿器を設置

2018 (平成30) 年 :

- トレーニングセンターの学外指導者個人利用に関する特例規定を作成
- 卒業生がトレーニングセンター一般利用を検討し、利用規定を作成

トレーニングセンター内の施設・機器の保守点検に関しては、吉野氏と業者が行い、優先順位をつけそれを委員会で検討後に決定し、決められた予算内で毎年実施した。

在任中の課題: 吉野氏採用後、勤務時間外のセンター運営のアルバイトがこれまで大学院生を中心に、日程調整して運営していたが、アルバイト不足が続き、学部上級生から現在では安全指導を受けたものであればアルバイトとして認める状況となった。

¹⁾ 日本女子体育大学 (特任教授)

Ⅲ. クラブ活動に関する業務

トレーニングセンターの部活動単位での使用に関しては、これまでも継続的に実施してきたが、手続きがルーズになる傾向が見られ、手続きの見直しをし、以下のような手順とした。

授業実施期間並びに土日利用、そして長期休業中の部活単位での使用に関しては事前に説明会を実施、申込期間を設定し必要書類を提出（提出期限厳守）とした。もし何らかの理由で提出が遅れた場合は、センター長が提出責任者と面談し使用を認めるか否かの判断をする。使用が認められない場合は、センター長から各部部長にその旨を伝えることとした。